

- 記者発表資料 -

## 【土木学会選奨土木遺産】に認定された 横浜港ハンマーヘッドクレーンの 認定書授与式 および 特別企画展 を開催します

国土交通省関東地方整備局が所有する「横浜港ハンマーヘッドクレーン」(横浜市中区)が、平成30年度の土木学会選奨土木遺産に認定(9月28日)されました。

つきましては、下記のとおり、土木学会選奨土木遺産認定書授与式を行いますのでお知らせいたします。

また、認定を記念し、我が国最初の港湾荷役専用クレーンとして、クレーンによる荷役の先駆けとなった建造以来104年の横浜港ハンマーヘッドクレーンの歴史について、横浜みなと博物館特別展示室で特別企画展を実施します。横浜港ハンマーヘッドクレーン以外にも全国のハンマーヘッドクレーンや横浜港の今後のプロジェクトなどを様々な資料で紹介いたします。

取材をご希望される報道関係者の方は、所定の取材申込書に必要事項を記入し、FAXまたはメールでお申し込みください。

### ■認定書授与式

開催日時 : 平成30年11月20日(火) 11:00~

場 所 : 新港客船ターミナル工事事務所(横浜市中区新港2丁目-6)

備 考 : 報道関係者の方に公開します。会場での受付開始は10:45から。

### ■特別企画展

開催期間 : 平成30年12月20日(木)~平成31年1月6日(日)

場 所 : 横浜みなと博物館特別展示室(横浜市西区みなとみらい2-1-1)

備 考 : 休館日は12月25日(火)、29日(土)、30日(日)、31日(月)

報道関係者向け説明会は12月22日10:00に開催

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ

### お問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部

海洋環境・技術課 課長

海洋環境・技術課 課長補佐

海洋環境・技術課 係長

たかはし やすひろ

高橋 康弘

くぼ てつや

久保 哲也

すが たかし

菅 崇

電話 045-211-7420

FAX 045-211-0204

写真第十四



平成30年度土木学会選奨土木遺産認定企画展

# 近代横浜港の基礎を築いた 横浜港ハンマーヘッドクレーン

1914~



※「ハンマーヘッド」の名前の由来  
塔状の構造物の上に水平のジブ(Jib: アーム部)を配置した形状で、全体の形状がハンマー(Hammer: 槌)に似ていることからハンマーヘッドと呼ばれている。

2016年11月撮影

## 【展示内容】

- ・横浜港の整備とハンマーヘッドクレーン
- ・全国のハンマーヘッドクレーン
- ・横浜港の今後のプロジェクトの紹介
- ・客船ターミナルを中核とした新港地区の「YOKOHAMA HAMMERHEAD PROJECT」について



完成予想パース: 新港ふ頭客船ターミナル株式会社

2018年 2019年  
12月20日(木) - 1月6日(日)

※12月25日(火)、29日(土)、30日(日)、31日(月)は休館

会場 = 横浜みなと博物館特別展示室

開館時間 = 10:00 ~ 17:00

特別展示室入館料 = 無料

※常設展は別途入館料が必要です。

主催 = 国土交通省関東地方整備局

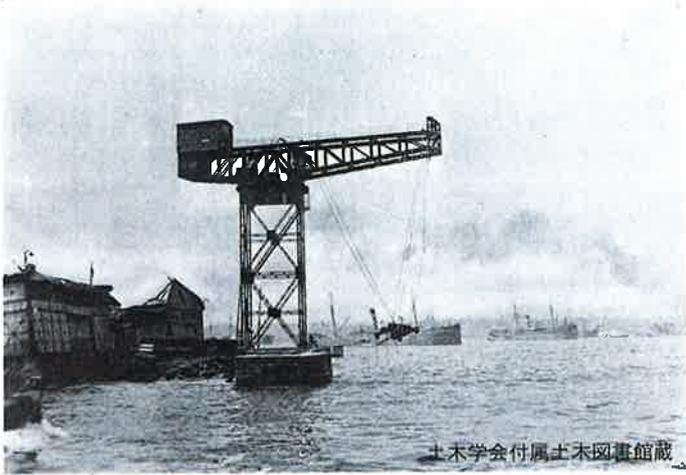
共催 = 横浜市港湾局(予定)

後援 = (一財)みなと総合研究財団

協力 = 長崎市、佐世保市、呉市、横須賀市、(株)EII

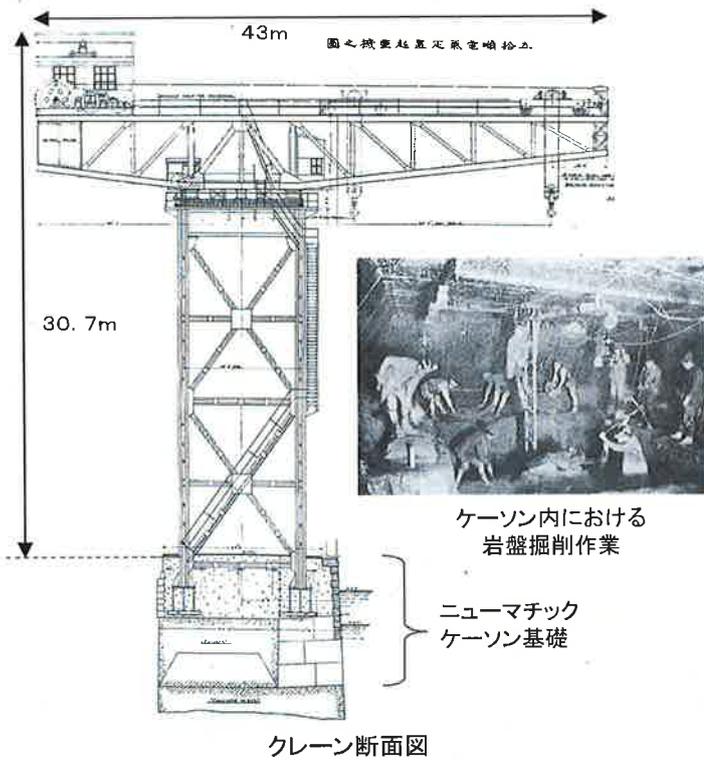
# 近代横浜港の基礎を築いた 横浜港ハンマーヘッドクレーン 1914~

写真第十四



土木学会付属土木図書館蔵

横浜港 突端に無事なる 50 噸定置起重機  
堅固な基礎により関東大震災でも損傷を受けなかった



※「ニューマチックケーソン工法」とは  
ケーソン（鋼製又はコンクリート製の大型の函）内に圧縮空気を送りながら基礎を構築する工法で、「潜函工法」とも呼ばれる。軟弱地盤や地下水位の高い地盤を掘削する場合、そのままでは水や泥が掘削場所に流入し作業が困難になることから、予め基礎となるケーソン下部に作業空間を設け、その中に圧縮空気を送ることで気圧の高い状態で水や泥の流入を防止しつつ、掘削作業を行い基礎を構築する工法。

- ・国土交通省関東地方整備局が所有する「横浜港ハンマーヘッドクレーン」(横浜市中区)が、平成30年度の土木学会選奨土木遺産に認定(9月28日)されました。
- ・横浜港ハンマーヘッドクレーンは、1914年(大正3)に横浜港新港ふ頭に整備された英国製の国内最初の港湾荷役専用クレーンです。それまでの人力による荷役や小船はしけによる沖合の船との荷役から、直接船へ重量物の荷役が可能となるなど、我が国の港のクレーンによる荷役の先駆けとなりました。
- ・また、堅固なニューマチックケーソン基礎により、1923年(大正12)の関東大震災でも損傷を受けませんでした。この堅固な基礎構造を含め、建設以来104年経過後も健全な姿のまま、横浜港の発展に大きく寄与した歴史的な構造物です。

横浜港ハンマーヘッドクレーン施設諸元				
吊上荷重	高さ	アーム長	利用	形式
50t	30.7m	43m	港湾荷役	50 t定置式電気起重機



横浜みなと博物館

# 取材申込書

国土交通省 関東地方整備局

港湾空港部 海洋環境・技術課 宛

FAX番号：045-211-0204

E-mail：suga-t83ab@mlit.go.jp

11月20日（火） ①土木学会選奨土木遺産認定書授与式

12月22日（土） ②特別企画展「近代横浜港の基礎を築いた横浜港ハンマーヘッドクレーン」

報道機関名		
所属記者クラブ		
担当者名		
連絡先：部署等		
電話番号		
取材体制：人数		
取材希望 ※希望される取材に○を記入ください（両方可）	① 11/20 認定書授与式	② 12/22 特別企画展

連絡事項	
------	--

連絡事項欄は、適宜ご利用ください。

※①認定書授与式は11月16日（金）、②特別企画展は12月19日（水）までにお申し込みください。

※ご提供いただいた個人情報は、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律にのっとり、本件に関するご連絡のみに利用し、厳正な管理により取り扱います。

## ■問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局

港湾空港部 海洋環境・技術課

課長 高橋 康弘

課長補佐 久保 哲也

係長 菅 崇

電話 045-211-7420